



茨木市制50周年記念特別公演

カーネギーホールや
ウィーン・ムジークフェラインを
感動のるつぼにした
アメリカとヨーロッパで大活躍の
若き日本人指揮者・大植英次がひきいる
ミネソタ管弦楽団初来日！



市制50周年の
メモリアルイヤーに
姉妹都市ミネアポリスから
友情と親善の使者！

(財)茨木市文化振興財団 第15回公演

大植英次指揮 ミネソタ管弦楽団



平成10年(1998年)

9/20(日) 15:00開演
(17:00終演予定)

茨木市市民会館大ホール

茨木駅前四丁目7番50号
阪急茨木駅から西へ徒歩10分 JR茨木駅から東へ徒歩10分

■プログラム

モーツァルト：交響曲 第39番 変ホ長調 K.543

Mozart: Symphony No.39 in E-flat major K.543

ベートーヴェン：交響曲 第7番 イ長調 Op.92

Beethoven: Symphony No.7 in A major Op.92

1階席：一般=5,000円 高校生以下=2,500円

2階席：一般=3,500円 高校生以下=1,500円

※全席指定席 ※就学前のお子様のお入場はご遠慮ください

6月8日(月)チケット発売

●チケット販売所

(財)茨木市文化振興財団 ☎0726-25-3055

ローソンチケット ☎06-369-6633 [Lコード:58013]

チケット・セゾン ☎06-232-9090

チケットぴあ ☎06-363-9999

※高校生以下の割引券の取り扱い、文化振興財団のみです

●お問い合わせ・電話予約

☎0726-25-3055 (財)茨木市文化振興財団

月～金 9:00～17:15 (土、日、祝日は休業)

〒567-0888 茨木駅前四丁目6番16号 茨木市クリエイティブセンター1F

主催=茨木市・茨木市教育委員会・(財)茨木市文化振興財団

This tour of the Minnesota Orchestra has been made possible through the assistance of the KAJIMA CORPORATION GROUP.

(財)茨木市文化振興財団 第15回公演

大植英次 指揮 ミネソタ管弦楽団

9月20日(日)15:00 茨木市市民会館大ホール

眠れる巨人・ミネソタ管 ヴェールをぬいで市制施行50周年の茨木に登場!

ミネソタ管弦楽団が、日本人の音楽監督・大植英次に引きいられて
ついに待望の初来日を果たす

実力がありながら、「眠れる巨人」あるいは「かくれた巨人」と言われていた
アメリカのメジャーオーケストラのひとつ、ミネソタ管弦楽団が今まさにヴェールをぬいで

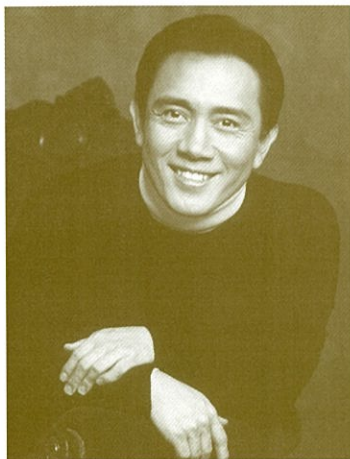
ミネアポリス市の姉妹都市・茨木市にもやってくる——

ときあたかも茨木市は、市制50周年という記念の年を迎えている

今回のミネソタ管弦楽団の茨木公演は、まさに今、旬の指揮者・大植英次と

アメリカを代表するオーケストラが茨木市民に贈る

友情と親善のハイクラスな“音楽の花束”なのである——



大植 英次 Eiji Oue 音楽監督・指揮

1957年(昭和32年)広島生まれ。桐朋学園大学卒業。アメリカの名指揮者・故バーンスタインの最後の弟子。

3年前の1995年(平成7年)、才能と実力がみとめられ、弱冠38歳でミネアポリス市にあるアメリカの一流オーケストラ・「ミネソタ管弦楽団」の音楽監督・指揮者に大抜擢されて音楽界をアツと言わせた。

大植は、緻密で手がたく不思議に聴き手を興奮させる躍動感と華やかさをもった音楽をつくりだし、ミネアポリス市で定期的に演奏会を開くとともに、ニューヨークのカーネギーホールやセントラルパークにおける演奏会でも絶賛を博している。

また、「エイジ エキスプレス(英次による音楽の魅力の表現)」と称して、精力的にミネアポリス市内の幼稚園・学校・施設などを訪れ“音楽の楽しさ”を説いてまわり、演奏会に来る聴き手をこつこつと増やし、市民から支持されている。

これらの活動がみとめられ、1998年10月からNDRハノーファー放送フィルハーモニーの首席指揮者にも就任する予定で、アメリカとドイツの両国でオーケストラの責任者をつとめる初の日本人である。

ミネソタ管弦楽団 Minnesota Orchestra

1903年(明治36年)に「ミネアポリス交響楽団」として創立され、68年に「ミネソタ管弦楽団」と改称された、95年の歴史をもつアメリカの一流オーケストラのひとつであるが、録音や演奏旅行が少なかったことから、「眠れる巨人」といわれてきた。

95年秋に、大植英次が音楽監督に就任してからは、CDの録音も4枚こなし、2年連続でグラミー賞にノミネートされている。また、今年の2月から3月にかけては、ロンドン・パリ・ミュンヘン・ウィーン等への演奏旅行もこなしてきたことによって、アメリカは言うにおよばず、ヨーロッパでもそのすぐれた音楽性と芸術性がみとめられ、実力どおりの評価がわきあがっている。

